



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,183	25.0	160	103.5	159	106.2	101	
2019年3月期第2四半期	946	2.4	78	45.6	77	46.6	11	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 97百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 18百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.70	
2019年3月期第2四半期	2.17	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,034	1,208	57.7
2019年3月期	1,945	1,164	57.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,174百万円 2019年3月期 1,117百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		8.00	8.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)			0.00	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,496	20.3	359	13.2	356	16.7	225	101.1	41.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	5,428,000 株	2019年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	441 株	2019年3月期	312 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	5,427,642 株	2019年3月期2Q	5,427,731 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済については、通商問題を巡る緊張の増大や中国経済の動向に関する不確実性から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の情報サービス業界では、クラウドコンピューティングに代表されるサービス化の流れが一層加速する中、AI（人工知能）等の最新のテクノロジーの活用やクラウドサービス間での連携強化等、付加価値向上に向けた取り組みが進んでおります。当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する「働き方改革」に伴う効率的な働き方等を実現するためのクラウドサービスの活用意欲が高まっております。

このような環境の下、当社グループでは、社労夢事業における社労夢システムの拡販や新製品のリリース、CuBe事業における「CuBeクラウド」の機能強化を行う等、業容拡大を図りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は売上高1,183,640千円（前年同四半期比25.0%増）、売上原価583,947千円（前年同四半期比38.5%増）、売上高に対する売上原価の比率49.3%（前年同四半期比4.8ポイント増加）、売上総利益599,692千円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益160,259千円（前年同四半期比103.5%増）、売上高に対する営業利益の比率13.5%（前年同四半期比5.2ポイント増加）、経常利益159,429千円（前年同四半期比106.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益101,485千円（前年同四半期は11,792千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、当社単体では10.8%（前年同四半期は3.8%）となりました。連結ベースでは8.9%（前年同四半期は△1.1%）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （社労夢事業）

社労夢事業においては、政府による社会保険・税手続のオンライン・ワンストップ化等の推進の中、「働き方改革」のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっております。一方で、競合による新規参入が散見され、競争の激化が予想されま

す。このような中、社労夢事業では、一般法人企業獲得に向けた営業展開を進めると共に、中小企業向け新製品「Direct-HR」のリリース及び各種法令改正への対応等を行ってまいりました。

この結果、クラウドサービス売上高は、817,622千円（前年同四半期比23.7%増）となりました。これは、主力サービスである「ネットde社労夢」と「社労夢ハウス」のユーザー数が順調に増加したことに伴う月額利用料の積み上がりに加え、一般法人企業の利用数が増加したことにより、ASPサービス売上高が708,075千円（前年同四半期比20.8%増）となったこと、及び一般法人企業への新規導入が進んだことに伴いシステム構築サービス売上高が109,547千円（前年同四半期比46.2%増）となったことによります。また、システム商品販売売上高は56,417千円（前年同四半期比16.7%増）、その他サービス売上高は554千円（前年同四半期比75.4%減）となりました。

一方で、新製品のリリースに伴い減価償却費が増加したこと等により、前年同四半期に比べ売上原価が増加しました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は、874,594千円（前年同四半期比22.9%増）となり、売上総利益は517,253千円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は196,384千円（前年同四半期比25.2%増）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は22.5%（前年同四半期比0.4ポイント増加）となっております。

#### （CuBe事業）

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービスの提供を行っております。

フロントシステムの受託開発については、既存顧客からの改修案件のニーズを的確に把握し受注・納品件数を着実に伸ばしました。一方、クラウドサービスにおいては、「GooooN」の販売強化、「年末調整CuBeクラウド」の法令改正対応など機能強化を進めユーザー獲得に努めました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は313,174千円（前年同四半期比33.0%増）、売上総利益は84,516千円（前年同四

半期比65.9%増)、営業損失は35,908千円(前年同四半期は79,401千円の営業損失)となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額19,430千円を反映しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較し199,839千円増加し、499,595千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は345,758千円(前年同四半期は490,753千円の使用)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益159,429千円、減価償却費127,873千円、主な減少要因は、売上債権の増加72,261千円、未払金の減少20,764千円などによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は78,643千円(前年同四半期は135,197千円の使用)となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出85,354千円、有形固定資産の取得による支出2,838千円などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は67,276千円(前年同四半期は348,986千円の獲得)となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入100,000千円、主な減少要因は長期借入金の返済による支出102,906千円、配当金の支払額43,421千円などによるものであります。

当社グループの運転資金には、売上原価や販売管理費に計上される対価や納税資金等があります。設備投資資金には、サーバー増設等の大規模な設備投資があります。

これらの必要資金の財源は、獲得した利益等により生み出される内部資金で賄っております。

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,067,533千円(前期比20.4%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金526,735千円、売掛金502,482千円となっております。

また、固定資産の残高は966,874千円(前期比8.7%減)となりました。主な内訳は、ソフトウェア501,618千円、のれん272,033千円、差入保証金42,527千円、繰延税金資産39,884千円となっております。

以上の結果、総資産は2,034,408千円(前期比4.6%増)となりました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、481,598千円(前期比7.7%増)となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金136,281千円、未払金72,981千円、未払消費税等45,601千円及び前受金43,003千円となっております。

また、固定負債の残高は344,464千円(前期比3.3%増)となりました。内訳は、長期借入金344,464千円となっております。

以上の結果、負債合計は826,062千円(前期比5.9%増)となりました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における株主資本は、1,174,643千円(前期比5.1%増)となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金197,457千円、利益剰余金758,513千円となっております。

以上の結果、純資産は1,208,345千円(前期比3.7%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	326,895	526,735
売掛金	430,221	502,482
商品	3,917	6,032
仕掛品	48,433	13,336
貯蔵品	172	167
前払費用	29,413	17,465
未収消費税等	44,301	—
未収還付法人税等	2,457	194
その他	720	1,117
流動資産合計	886,532	1,067,533
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,968	22,099
車両運搬具（純額）	3,911	3,259
工具、器具及び備品（純額）	54,021	45,056
有形固定資産合計	80,901	70,415
無形固定資産		
ソフトウェア	408,214	501,618
ソフトウェア仮勘定	155,411	37,573
商標権	1,536	1,433
電話加入権	1,218	1,218
のれん	291,464	272,033
無形固定資産合計	857,845	813,877
投資その他の資産		
出資金	70	70
差入保証金	52,077	42,527
繰延税金資産	67,868	39,884
その他	98	98
投資その他の資産合計	120,114	82,580
固定資産合計	1,058,860	966,874
資産合計	1,945,393	2,034,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36,251	35,974
短期借入金	30,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	150,311	136,281
未払金	89,087	72,981
未払費用	31,513	28,819
未払法人税等	4,633	40,052
未払消費税等	5,163	45,601
前受金	30,619	43,003
受注損失引当金	10,367	—
賞与引当金	47,787	52,065
その他	11,332	6,818
流動負債合計	447,066	481,598
固定負債		
長期借入金	333,340	344,464
固定負債合計	333,340	344,464
負債合計	780,406	826,062
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	198,169	197,457
利益剰余金	700,449	758,513
自己株式	△327	△437
株主資本合計	1,117,400	1,174,643
非支配株主持分	47,586	33,702
純資産合計	1,164,987	1,208,345
負債純資産合計	1,945,393	2,034,408



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	946,740	1,183,640
売上原価	421,762	583,947
売上総利益	524,977	599,692
販売費及び一般管理費	446,243	439,433
営業利益	78,733	160,259
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	1	1
保険解約返戻金	9	21
仕入割引	5	5
還付加算金	—	358
その他	61	49
営業外収益合計	82	439
営業外費用		
支払利息	1,482	1,267
その他	2	1
営業外費用合計	1,485	1,269
経常利益	77,331	159,429
特別損失		
違約金	94,121	—
特別損失合計	94,121	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,790	159,429
法人税、住民税及び事業税	1,009	33,716
法人税等調整額	370	27,984
法人税等合計	1,380	61,700
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,170	97,728
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,377	△3,756
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,792	101,485

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,170	97,728
四半期包括利益	△18,170	97,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,792	101,485
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,377	△3,756

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,790	159,429
減価償却費	57,371	127,873
のれん償却額	19,430	19,430
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△10,367
賞与引当金の増減額(△は減少)	192	4,278
受取利息及び受取配当金	△6	△3
支払利息	1,482	1,267
売上債権の増減額(△は増加)	44,891	△72,261
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,525	32,986
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,585	△277
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,857	84,739
未払金の増減額(△は減少)	△479,282	△20,764
その他	17,007	18,930
小計	△417,671	345,262
利息及び配当金の受取額	6	2
利息の支払額	△1,482	△1,267
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△71,605	1,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	△490,753	345,758
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	40,013	—
有形固定資産の取得による支出	△9,428	△2,838
無形固定資産の取得による支出	△167,625	△85,354
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,431
敷金及び保証金の回収による収入	1,842	10,981
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,197	△78,643
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△10,000
長期借入れによる収入	500,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△74,002	△102,906
リース債務の返済による支出	△1,254	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△15,990	△10,839
自己株式の取得による支出	△62	△109
配当金の支払額	△59,705	△43,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	348,986	△67,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△276,964	199,839
現金及び現金同等物の期首残高	653,043	299,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	376,078	499,595

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	711,438	235,302	946,740	—	946,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	276	156	432	△432	—
計	711,714	235,458	947,173	△432	946,740
セグメント利益又は損失(△)	156,875	△79,401	77,473	1,260	78,733

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	874,318	309,322	1,183,640	—	1,183,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	276	3,852	4,128	△4,128	—
計	874,594	313,174	1,187,768	△4,128	1,183,640
セグメント利益又は損失(△)	196,384	△35,908	160,476	△216	160,259

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。